

## 内視鏡検査における抗血栓薬中止の同意書

説明医師（署名・捺印）

⑩

### 説明：

脳梗塞や心筋梗塞など、血管の中で血液が固まって発症する病気を予防するために、抗血栓薬が使われます。あなたは抗血栓薬を服用されていますが、この薬を服用されている場合、一度出血が起こると止まりにくくなることがあります。内視鏡検査では、消化管の粘膜への機械的な刺激、あるいは、腫瘍が疑われる場合に組織の一部を採取する生検により出血を伴うことがあります。内視鏡で観察するのみであれば抗血栓薬を中止することなく実施することは可能ですが、生検を実施した場合は出血が止まらなくなり、専門病院で入院治療を要することもあります。生検を希望される場合は、検査を実施する前にあらかじめ抗血栓薬を中止していただくことがあります。しかし、抗血栓薬を中断すると脳梗塞や心筋梗塞などの血栓性疾患を発症する可能性もあります。

抗血栓薬には、抗凝固薬（ワルファリン、ダビガトラン、リバーロキサバン、アビキサバン、エドキサバンなど）と抗血小板薬（アスピリン、クロピドグレル、プラスグレル、チカグレロル、シロスタゾール、チクロピジンなど）の2種類があります。たとえば、ワルファリンを中断すると約1%の頻度で脳梗塞や他の血栓性疾患を起こし、多くは重症であることが複数の研究で報告されています。また、脳梗塞を起こしたことがある方が抗血小板薬を中断すると脳梗塞再発の危険性が上昇するとの報告もあります。

抗血栓薬を中止することと継続することの両方の危険性を十分にご理解していただきたいと思えます。抗血栓薬中止に伴う血栓性疾患発症の危険性を理解し、今回の内視鏡検査を受けられる場合には、この同意書に署名をお願いいたします。

私は、内視鏡検査において抗血栓薬を中止することの目的と危険性について理解できましたので、抗血栓薬を中止することに同意いたします。

署名日 令和 年 月 日

本人（署名・捺印）

⑩